

材 料 部

1. 施設の整備状況

(1) 現状の概要

1) 設備

ウォッシャーディスインフェクター 3 台、高圧蒸気滅菌器 3 台、EOG滅菌器 1 台、低温プラズマ滅菌器 1 台、全自動超音波洗浄器 1 台

2) 人員構成

看護婦長 1 名、副婦長 1 名、パート看護助手 3 名、医療機器操作員 2 名

(2) 稼働状況、実績

年間 高圧蒸気滅菌器 2,044回 使用

EOG 244回

プラズマ 260回

ウォッシャーディスインフェクター 3,350回

超音波洗浄器 1,717回

2. 点検・評価（平成 9 年度～12年度）

(1) 効率化

1) IT化

材料オーダー稼働中

2) 部門の統合・廃止

ME機器センターなどとの統合，サプライセンター構想が考えられる。

3) 収益性

該当事項なし

(2) 貢献度

1) 院内

使用済み医療機材の再生・滅菌に関わる一連の処理業務、デスポ製品の管理・払い出し

2) 院外

院外診療施設に対する情報発信

3) 地域社会

該当事項なし

(3) 高度先進医療，医学の進歩への対応

高度先進医療実践に対する医療材料の効率的提供，最新の医療材料の開発

(4) 組織の柔軟性

各診療科はじめ手術部，ICU，人工透析部など関係部署とのより緊密な連携

(5) 情報発信度

医療材料更新時の紹介

院内感染防止

(6) リスクマネジメント

- 1) 滅菌不良物品の供給防止対策
- 2) 職員の感染と事故予防対策

(7) 教育

新卒者オリエンテーション

(8) 研究

該当事項なし

(9) 学会活動

- 1) 全国国立大学医学部附属病院材料部長、看護婦長会議
- 2) 感染対策に関連した学会出席

3. 問題点とその対策

臨床工学技士の拡充充実

4. 施設の将来展望

物流管理部門を含むサプライセンターとしての機能の拡充